

エイチ・エス・
フューチャーズ

セミナー開催



会場の様子

エイチ・エス・フューチャーズ（本社＝東京都新宿区・中西貞夫社長）が23日東京穀物商品取引所を会場として開催したセミナーで、トレードドライフコンサルタント代表・尾崎式史氏はテクニカル指標を用いて売買のタイミングを伝授。その中でも移動平均線を「かなり使える、外せない指標」とし、5日移動平均線と25日移動平均線の組み合わせでチャートを示しながら解説した。

同氏は2、3日一週間の短期トレードを前提として説明を進めた。

まず「安いところを買って高いところを売る、これに尽きる。ただ、多くの投資家が逆のことをしている」と現状を指摘し、売買のタイミングをつかむにはテクニカル指標を使うのが効果的であると述べた。テクニカル指標はあらゆるものが利用できる、基本的に全ての指標をみて投資判断をするのが良策という。売買のタイミングをおさえれば「金融商品問わず勝てる」と述べ、具体的に個々の銘柄のチャートを示しながら、どこで売ったら良いか、また買ったら

TLコンサルティング
テイ 尾崎氏

売買のタイミングを伝授

良いか説明した。意に反した結果になったら必ずロスカット（損切り）する必要があると指摘。同氏は「リスクはゼロにならない」と語った。

チャートを見ても相場の方向性が分からなるときは、チャート以外（例えばファンダメンタルズへ需給要因）なども参考にする必要を説いた。「チャートも外れることがある」との指摘どおり、テクニカル指標に基づく判断が全てではない。このため、なるべく視野を広げ違った視点で見



熱心に説明する尾崎氏

ることが大切である旨を語った。そのほか、エイチ・エス・フューチャーズ市場課・西勝之氏が投資活動で必要なリスクコントロール手法として、いかに損切りをするかなどを中心に説明した。また、同社の今後のセミナーについてどのような形で行っていくか紹介。同社は、リスクコントロール、システムトレードなど顧客のニーズに見合う、様々なテーマで今後セミナーを充実させていく。